



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 石上浩一  
編集責任者 常盤達雄

No.1733

2011年

4月5日

二〇一一年春闘標語  
守ろう安全 無くそう格差  
全ての仲間に賃上げを

# 国労震災対策本部立ち上げる

三月一日(金)東北地方太平洋沖を震源とする大地震が発生し、広い地域に亘って甚大な被害が発生した。

多くの人命が失われ、国労組合員をはじめ、多くの労働者、家族が極めて大きな被害を被っている。被害にあわれた国民の皆さんと、国労組合員・家族、JRで働く仲間とその家族に心から哀悼とお見舞いを申し上げます。

JR各線も大きな被害を受け、発生直後から混乱の中で、私たち国労組合員も職場において全力で運転の回復に努めてきており、その働きに最大限の敬意を表したい。その後も電力不足により毎日のように運転計画が変わり、混乱するなかでも国民の足である鉄道を守ろうと頑張る仲間たちを頼もしく思う。

## 野球審判技術講習会を開催



三月五日、東京地本と国労東京審判団は第一七回国労東京・神奈川県野球協会合同審判技術講習会を、神奈川県工業高校グラウンドで開催した。県立神奈川工業高校と県立霧が丘高校の野球部の皆さんに協力をいただき、実戦的な講習を行った。

アウト・セーフやストライク等のジェスチャーの基本練習、ストライクゾーンの説明、ノック形式によるフォーメーションの練習、昼食を挟み、試合形式での練習を行い、地本野球大会をはじめ各支部・地区本部や東日本本部の野球大会の準備が整った。夏の地本野球大会での熱戦が今から待ち遠しい。



東京地本で救援物資積み込み作業中

## 第100回拡大地方委員会開かれる

東京地方本部第一〇〇回拡大地方委員会が、二月二六日に新橋・交通ビルにおいて開催された。

一〇時半に稲荷副委員長の開会あいさつから始まり、議長に打越委員(上野保技セ)が、副議長には浦郷委員(東京総合車セ)が選出された。石上委員長のあいさつ。上部機関からは、本部濱中書記長が、「不採用事件。雇用についても努力すると、政治合意。国土交通委員に対する要請行動を開始し、政治の責任を申し上げた。大島大臣は、改めて四党の方から要請をしていただいて、大臣としてJR各社に必要な取り次ぎを行ってまいりたい、と答弁があった」などの報告を行った。

松川書記長から経過報告・当面する方針案の提案があり、昼食休憩後に各委員による討論が行われ、東京闘争団・原田団長の特別発言を含め一四名から発言があった。多くの委員からJR不採用問題や組織拡大、安全問題、労働条件改善、春闘、平和の問題など多岐に渡って発言がされた。最後に特別決議、委員会宣言が読み上げられ、最後に団結がんばろうで不採用問題をはじめ組織拡大などの多くの課題に全力で取り組んでいく決意を固めあった。

春闘標語の表彰  
入選 広げよう 私たちの運動を  
職場の中へ 組織の拡大へ!  
大宮工場支部 宇塚 史明  
佳作 守ろう安全 無くそう格差  
すべての仲間に賃上げを  
上野支部 森 勉

## 第100回拡大地方委員会発言録

粉川 洋(本郷台駅)

○輸送障害問題。乗降客七万人に社員は三人。案内、放送、払い戻し、振替輸送など全て対応。地区本部では二ヶ月間支社内調査。運転見合せは三一回。人身事故と設備故障が無ければ輸送障害は飛躍的に減少する。安全対策に二兆円以上の設備投資を行ったが、実感が湧かない。振替輸送も問題で、振替票を社員一人、二人で配布できるようなものではない。

○昨年九月に新杉田駅で五六歳の仲間が国労に加入。広域採用で国労の先輩にお世話になった時のことを二四年経っても、家族を含めて覚えていてもらった。助け合いが確実にあった。

車塚 豊(北赤羽駅)  
○委託駅の問題。運転取り扱いがあまりない。指示がJR本体からダイレクトに。指示をする駅長・助役や指令員も。列停の復位やドアノックの扱いで指示命令、指導を受けたことも。我孫子駅の遺失物扱いが三月から委託。緩行

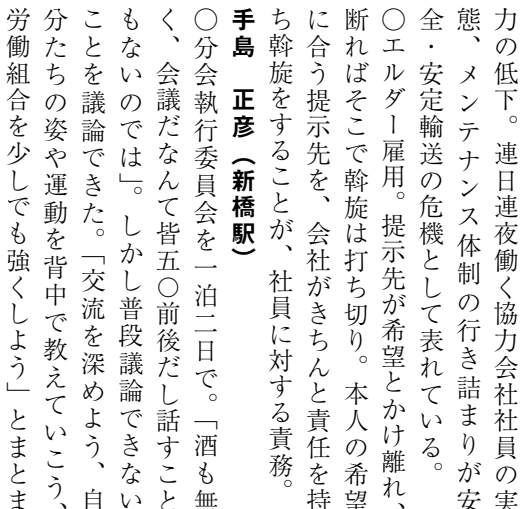


武田 英雄(八王子保線技術センター)

○メンテ改善で事故早復旧体制強化と若手の教育の場として拝島に派出所を設置。教育と称して草刈や土固めの道具まで用意し、他労組の組合員の中からも業務区分は?という声も。慢性的な超勤、事故の度に増えていく書類や調査等、労働条件の改善は待ったなし。丸投げの外注、それに伴う技術力の低下。連日連夜働く協力会社社員の実際、メンテナンステ体制の行き詰まりが安全・安定輸送の危機として表れている。

○エルダー雇用。提示先が希望とかけ離れ、断ればそこで斡旋は打ち切り。本人の希望に合う提示先を、会社がきちんと責任を持ち斡旋をすることが、社員に対する責務。

手島 正彦(新橋駅)  
○分会執行委員会を一泊二日で。「酒も無く、会議だなんて皆五〇前後だし話すこともないのでは」。しかし普段議論できないことを議論できた。「交流を深めよう、自分たちの姿や運動を背中であってほしい、労働組合を少しでも強くしよう」とまとま



第100回拡大地方委員会  
国鉄労組東京地方本部

つてきた。  
 ○ 駅ではGSが増加。五年を迎え雇い止め。一生懸命やっても不安だらけ。定期昇給やベア等無縁。しかし、我々も安泰などない。五五歳で上積みを買って退職された方は退職金の底が見えてきた、やはり仕事をみつけたいと生活できない。六五歳まで元気に働き続けられる労働条件を創り出さないとけない。  
**湊 信蔵(真鶴駅)**  
 ○ 組織拡大。国労に加入させても守るのに不安との声。分会全体の意思統一、分会活動の活性化、信頼関係を作って、他労組合員の声を掴んで組織拡大につなげるのが重要。地区本部もGS交流会を開催。職場の状況が出され、社員登用試験も合格できないままこの先が不安の声。要求を聞き、正社員化実現の闘いから組織拡大に。  
 ○ 調査活動。未だ職場の中では不公平感が残っている。新人事・賃金制度は内容の検討が始まったばかりで、時間と論議が必要。将来に亘って重要な問題をはらんでいる。調査結果を分析し、組合員に拡げていく。  
**塚本 哲夫(中央支部・上野保健セ)**  
 ○ 一二月にレールセンター廃止・統合。十分な準備もなく強行。一二月一日に保技セに出勤すると、テーブルも無い。二日も同じ。三日に旧レールセンター本所へ行き今後の説明。自分のテーブルも無く、約一週間は何も仕事ができず。レールセでの業務が残っているので設備は残すという説明だったがFAX撤去。JR貨物への報告が不能に。レール積み込み確認は直轄だったが、溶接会社が行うことに。引継ぎのため月に一人一四回から一六回越中島へ出向く。足口スもばかにならない。P会社に迷惑をかけている。JR東日本の姿勢もあると思うが、もう少し丁寧な団体交渉をしたかった。  
**清水 康行(東所沢電車区)**  
 ○ 地区本部・運輸協・運協車掌分科が一体でダイヤ改正の問題点が改善されるよう取り組み。団体交渉で要望は計画助役に、交番順序表については職場で変えられる、など回答を得ている。回答を基に職場で出来ることは職場で解決する取り組みを行ってきている。三月ダイヤ改正で計画助役から

「ダイヤ改正で交番順序表をいじりたいが、何か要望はありませんか」と話が一月にわたった。食事時間についても社会通念上の時間の確保、また実働時間五時間以上の確保を求められている。  
 ○ 故野口さとの氏の遺族育英資金カンパの取り組みについて、多くの分会からご協力をいただき、お礼を述べていきたい。  
**増田 静治(大宮総合車両センター)**  
 ○ 安全・安定輸送と労働条件改善。新車投入は電子機器の導入など、検修職場に大きな変化。要員減少で、技術継承は危機的状況。業務委託が繰り返され、委託された業務が更に孫請けなどに品質低下が心配。JR本体が車両を知らない、という現象が。JRが責任を持つということが問われる。  
 ○ 不採用問題。闘争団から「生活援助金の支給が無くなるのが今後の生活に不安」との話があった。組合員も心配の声。整理解雇やクビ切りが行われているが新たなクビ切りは許さないとする世論形成が重要である。特に日航労組に対する支援強化が求められている。国鉄と同じ手法が行われてきた。日航労組への支援強化を要請する。  
**百戸 昭彦(上野駅)**  
 ○ 社員数三七三名、うち女性が一〇〇名。GS社員九〇名、女性七二名。突発性の女性だけの休暇がある。日に何人か同時に休むことも多々あり、予備の人員を置くべき。GS社員の登用試験。合格した者、落ちた者両者が一緒に同じ職場で接客をし、発売にあたる。異様な職場の環境。「何であいつが受かるんだ」的な嫌がらせ。一人前に仕事が出来ようになった人材を手放す。来年には雇い止めの問題がでてくる。時間あまり残されていない。国労として困ったときには相談に乗り、仲間として励まし、それが労働運動であろうし、契約社員制度廃止問題は今後の国労の闘いと、課題にしなければならぬ。  
**小池 浩樹(十条駅)**  
 ○ 十条駅も若手を中心。トラブルも少なくない。教えた若手がどんどん車掌に出て行

く。どうなのかと、先輩社員。将来を考えると、経験を積んだ若手の社員が、必要。○ エルダー職場では、我々の組織は団体交渉権が無いので、職場の代表者を通じて就業規則変更について周知、代表者の署名捺印。横の連絡網が取れてない。どう扱うか、各々の職場で疑問に。縦と横の情報伝達方法が急務になっている。  
 ○ GS社員の雇い止め。新宿駅分会のGSの組合員は岐路に。当該組合員に勇気と元気を与えられる取り組みを。新宿駅分会は仮にも社員になれなかった場合にはストライキを打つぞ、くらいのことと言っていた。  
**厚澤 幸夫(渋谷駅)**  
 ○ 新人事・賃金制度。明らかに成果主義、能力主義の制度。減額は段階的に廃止されるもの、試験に合格しないと賃金の伸び

が少なくない。昇進制度の見直しとセットで、労働者を競争させる。青年労働者は国労がどのような対応をとるのか注目。  
 ○ 安全問題。ホーム柵は一刻も早い設置が求められている。恵比寿駅の仲間から、故障すると復帰に時間を要し、昨年一二月三日にも故障し、人身事故による遅れと重なって大混乱。実態の調査を。また、ホーム要員の無人化やワンマン運転にも繋がりがねない問題であるので、安全と要員の問題においての検証対策委員会の中で対策を。  
**佐藤 新(豊田駅)**  
 ○ 豊田駅信号所は車両センター入出区電車を一日約一〇〇本取扱。昨年三名の仲間が配転、一名が定年退職。運転扱職場は特状がある。一年間で半分入れ替えはいかがか。転入の三名中二名は組織拡大が進む武

今後、JR東日本は選択と集中という中で施策を提案してくる。東北縦貫線など含めて環境が大きく変化をしていく。契約社員雇い止めも差し迫った問題。GSに対する取り組みとか、実態などについて改めて地本としても取り組みを強化する。問題を改善する中から組織拡大に繋げていく。  
 ・三番目は二〇一一年春闘。景気回復については足踏み状態ということで経済が改善をしないという状況に変わりは無い。国労は二月九日に五〇〇〇円の賃金要求を全社一斉に提出。JR貨物については別途の労働条件改善要求を提出して、賃金とあわせて労働条件の改善をこの春闘で求める署名を今、貨物職場を中心に取り組んでいる。仕事や職場を点検することによって要求の掘り起こしを提起。  
 ・JR不採用事件の最終解決を求める取り組み。残るは雇用問題。この金銭と雇用の問題は一体であるという認識から取り組みを展開している。現状のなかで政治をしっかりと動かす。今日日本部の報告からもあつた通り、一糸乱れぬ行動ということを取り組みを。統一地方選挙などもある、国労としては方針でも触れている通り、反戦、平和、護憲、民主主義の立場に立った政治を築きながらJR不採用事件の最終解決を求める取り組みに全力をあげることとしてい



# 書記長集約

・第一点は組織強化拡大の取り組み。宇都宮車掌区で組織拡大の報告。こういった取り組みに学んでいきたい。入ってくる仲間の気持ちに改めて応え、次の仲間を迎え入れる取り組みに全力を。新入社員対策。国労を選択していただけるようにお互いが努力を。一部労組一辺倒の加入という異常な問題について何とか風穴を。残念ながら組織を去らざるを得なかった仲間がいるけれども、今、迎え入れる取り組みを。不採用事件の一定の整理がついた。この力を組織拡大に。  
 ・二点目は労働条件改善などの取り組み。安全仕事総点検運動を闘いの柱に。これまでの総括の上になつた要求創りと改善を求める取り組みに全力を。七月以降一斉に交渉体制を確立していく。様々な施策の提案から実施の期間が非常に短い。こういった会社の対応は許すことが出来ない。一方、「グループ会社と一体となつた業務体制の更なる推進」のように提案されればなしになつている問題が。闘いの基本は、安全な車両の提供、設備の整備、安全に働ける労働環境。これらの基本に基づいて本社・本部間交渉や地方における交渉の体制を確立していく。

今後、JR東日本は選択と集中という中で施策を提案してくる。東北縦貫線など含めて環境が大きく変化をしていく。契約社員雇い止めも差し迫った問題。GSに対する取り組みとか、実態などについて改めて地本としても取り組みを強化する。問題を改善する中から組織拡大に繋げていく。  
 ・三番目は二〇一一年春闘。景気回復については足踏み状態ということで経済が改善をしないという状況に変わりは無い。国労は二月九日に五〇〇〇円の賃金要求を全社一斉に提出。JR貨物については別途の労働条件改善要求を提出して、賃金とあわせて労働条件の改善をこの春闘で求める署名を今、貨物職場を中心に取り組んでいる。仕事や職場を点検することによって要求の掘り起こしを提起。  
 ・JR不採用事件の最終解決を求める取り組み。残るは雇用問題。この金銭と雇用の問題は一体であるという認識から取り組みを展開している。現状のなかで政治をしっかりと動かす。今日日本部の報告からもあつた通り、一糸乱れぬ行動ということを取り組みを。統一地方選挙などもある、国労としては方針でも触れている通り、反戦、平和、護憲、民主主義の立場に立った政治を築きながらJR不採用事件の最終解決を求める取り組みに全力をあげることとしてい

蔵小金井駅から。復帰者本人と加入の流れを創った人。見せしめか。悔しい気持ちがあるが、しっかり守っていく仲間意識ができて、また転勤者からの意見を参考に要求が行い、改善にも繋がってきている。営業の若手社員との接点が少ない環境にはあるが、国労を理解してもらえよう、努力を続けている。若手社員等は動員要請に対する不満を口にしているし、組織拡大の条件はあると思う。

医療の進化にあわせた、  
**アフラックのいちばん新しい「がん保険」です。**

「生きる」を創る。  
**Aflac**

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)  
 〒163-0456 東京都西三井ビル  
 Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

〈募集代理店〉  
**アベニール株式会社**  
 電話 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822  
 〒116-0004 東京都港区新橋5-17-5 交通ビル5F  
 (取りまとめ先)  
**(財)国鉄労働会館東京地方部**  
 JR電話 054-2548 FAX 03-3806-9275  
 電話 03-3806-9264  
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。  
 ◎詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「二契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF104-2008-0124 4月18日

**特別発言(東京闘争団 原田团长)**  
 ・今、政治的に良い状況にあるとは言えない。しかし、本州はJR東日本もJR貨物も合わせて七〇〇〇名以上の欠員の状況で発足した。全員を採用して当たり前。しかし、国と国鉄そしてJRは、国鉄時代の停職処分を持ちだして我々を排除した。我々は決して忘れない。政党と政府が捺印して約束した。必ず実現させなければならぬ。緊急の行動として国会議員要請や政党への要請を行った。特に国土交通委員会の衆・参の議員に対して、関係省庁へ北海道・九州の家族と共に取り組んだ。院内集会には四党と共産党の代表の方が出席。政治の責任で解決しなければならぬと、皆さんが強調。これをテコにして本当の雇用の実現に取り組んでいかなければならない。